

(四) 労働組合の発展
 (五) 労働組合の組織
 (六) 労働組合の活動
 (七) 労働組合の地位
 (八) 労働組合の将来

労働組合の発展は、労働者の生活向上に資するものである。労働者は、資本家の搾取に苦しんでおり、労働組合を通じて、自己の利益を擁護し、労働条件の改善を要求する。労働組合は、労働者の代表者として、労働市場で交渉を行う。労働組合の組織は、労働者の生活圏に根ざり、労働者の生活向上に努める。労働組合の活動は、労働者の生活向上に資する。労働組合の地位は、労働者の生活向上に資する。労働組合の将来は、労働者の生活向上に資する。

財団法人協同會大蔵支所

聯合會主事青村善一郎氏ニ依ツテ左記追悼文ガ捧ゲラレタ

止めどもなく汗の流るゝ夏が來ました、常峰俊一君、君が殘虐なる警官の毒刃の爲めに壯烈なる最後を遂げてから三度目の夏が來たのです、上谷清一君、君が彼の爭議に於て陋劣なる資本家の陥穽と壓迫に堪へきれず遂に毒を仰つて無殘の最後を遂げたのも二年昔の爭議の眞最中でありました、實際彼の労働爭議は吾國の労働運動史上に新記録を止めた大爭議でありました、參加人員の多かつた事に於て罷業日數の永かつた事に於て官憲が暴狀を極め従つて多數の犠牲を出した事に於て全く空前の大爭議でありました思ふに此の大労働爭議は我國の無産階級否全日本國民に何を教へ何を齎したてせう。

其後世界經濟界の不況が益々深刻となり爲に都市に於ける労働運動は稍退嬰の形に見えます、併しそれは勿論皮相の觀察であつて吾等の運動は益々皮相より深刻へ、表面的より内面的へ理論より